

サマースクール むかし、むかしのべつかい 「まが玉作りに挑戦しよう」のお知らせ！

別海町にはいつ頃から人が住み始めたの？ どんな生活をしてきたの？ 夏休み、勾玉づくりをとおして、古代の人たちの生活を学びましょう！

- 日 時 8月3日（月）・4日（火）
午後1時30分～3時30分
2日間行いますので、どちらか都合の良い日をお選び下さい。

■場 所 郷土資料館研究室

■内 容 ①お話—むかし、むかしのべつかい ②体験活動—まが玉づくり

■定 員 小学生以上 15名（親子参加可）

■受付期間 7月31日（金）まで。

※参加申込は、電話・FAX・メールのいずれかにて希望日・お名前・電話番号をお知らせください。



「別海町の農業の変遷をたどる」ジオラマを 展示しています。

「生乳生産量日本一」の別海町、今日の豊かな酪農郷を築くまで、先人たちの多くの苦労がありました。当館では、大きな変換点となった「昭和初期の開拓農家」「根釧パイロットファーム」「新酪農村建設事業」のジオラマ（模型）により、別海町の農業の変遷を見ていただきたいと考え、製作・展示公開しております。完成度の高いジオラマとなっておりますので、ぜひ、ご覧下さい。



北方四島のみなさんのご来館がありました。

6月20日（土）北方四島交流事業としてロシアのみなさんにご来館いただきました。郷土資料館では動物の剥製に興味深々で、特に大きなヒグマの剥製はとて人気があり、写真をたくさん撮られていました。加賀家文書館では、アイヌ民族の衣服などに興味関心があったようで、実際にアツシ（樹皮衣）を着用していただきました。



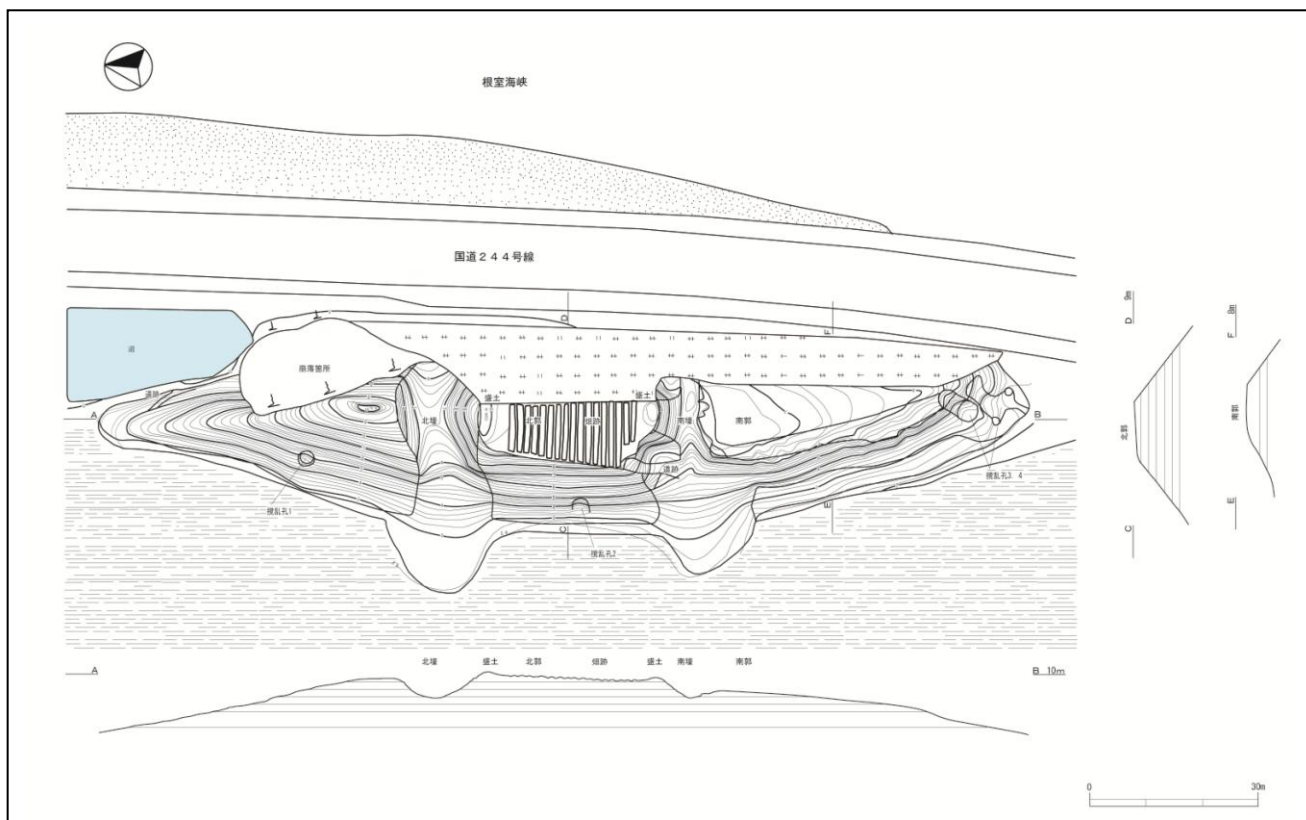
床丹 1 チャシ跡の発掘調査 その2



発掘調査はじまる！（測量調査）

調査の内容は、①現存するチャシ跡の測量調査（4900 m²）。②今後崩壊が予想されるチャシ跡北側の部分発掘調査（355 m²）。③チャシ跡の基礎的な情報を得るためにトレンチ 8 所設定し詳細分布調査（51.5 m²）を行いました。

床丹 1 チャシ跡は、正式な調査も行われていなかったもので、現在の状態の詳細な測量図を作成する必要がありました。はじめに草刈作業を行い、地表面を明らかにします。測量は 20cm 間隔の等高線で、細かな地形の様子を丹念に記録していくことにより、今まで見えなかったものが見えてきます。道のような跡、穴の跡、畑の畝跡など草に覆われては見る事の出来ないものも多くあり、こうした測量図を作成し記録保存することは、遺跡の保護保存、今後の調査研究に重要な役割を持っています。



床丹 1 チャシ跡測量図

チャシ跡の形状が明らかになり、たくさんの発見もあり、いよいよ発掘調査となります。チャシ跡の頂部からは、知床半島から野付半島、根室半島が一望できる場所です。畑の畝跡も発見され、誰が作った畑か興味関心が高まります。（次号につづく）

別海町郷土資料館だより No.192

発行日 平成27年7月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

寒い6月とみなさん感じたことと思います。7月に期待したいところです。「別海町の農業の変遷をたどるジオラマ」も館のスタッフさんの創意工夫により、予想以上の出来栄となりました。ぜひ、ご来館いただき、細かいところをじっくりと見ていただきたいです。(K.I)